

## 事例 11 一貫作業システムの導入を通じた林業経営者の育成

(四国森林管理局 れいほく 嶺北森林管理署)



- 高知県 土佐（とさ）郡 土佐町（とさちょう） 石原山（いしはらやま）国有林
- 左：架線による素材と枝条の搬出の様子
- 右：架線による苗木運搬の様子

四国森林管理局では、架線集材による伐採と造林の一貫作業システムを導入し、施業の低コスト化を通じた林業経営者の育成を図っています。

嶺北森林管理署では、伐採・搬出等の生産作業と地拵え<sup>\*</sup>・植栽等の造林作業を一体的に行う一貫作業システムの効果や課題を分析しました。本事例では、架線集材による伐採木の搬出、地拵え、コンテナ苗による植栽を一連の作業として実施し、地拵えの省力化、架線を用いた苗木運搬等を通じて作業工程を効率化することができました。一方で、残った枝条による植栽作業等への影響や集材と苗木運搬の調整等の課題も明らかになり、今後、取組の成果や課題について現地検討会等を通じて検証・改善することで、低コスト化に資する作業システムの普及を図っていきます。